

## 令和3年度第1回高知県歯と口の健康づくり推進協議会 議事要旨

1 【日時】令和3年8月26日（木）19時00分～20時40分

2 【場所】高知県歯科医師会館 会議室1.2

3 【出席者】協議会委員15名出席、欠席4名、事務局7名

### 4 協議事項

(1) 歯と口の健康づくりに関する現状について

(2) 第2期高知県歯と口の健康づくり基本計画に基づく令和2年度の取り組み実績及び令和3年度の取り組み予定について

(3) 第3期高知県歯と口の健康づくり基本計画について

(4) その他（令和3年度基本計画第3期改訂のスケジュール）

### 5 議事の経過の概要

委員の任期が令和3年6月末で満了になったことに伴い、新たなメンバーに交代となった。今期の会長を野村委員（高知県歯科医師会）、副会長を青野委員（全国健康保険協会高知支部）に選出後、会長の議事進行により、各議題について事務局の説明を受け、協議が行われた。

### 議題

#### (2) 第2期高知県歯と口の健康づくり基本計画に基づく令和2年度の取り組み実績及び令和3年度の取り組み予定について

- ・ 委員から、フッ化物洗口について、高知市の実施率は低いが、学校へのアプローチや養護教諭の先生方と協議を行い取り組みが進んでいると感じている。低学年から順次進めているような状況であり、むし歯の罹患率は高知市も全国的に負けないうらい少ない数字であると発言があった。
- ・ 委員から、フッ化物洗口について、実施率が低い市町村へ重点的に対策をする必要があるとの意見があり、事務局から令和元年度に南国市と香南市は関係者間で調整を行い、令和2年度から開始に向けて準備をしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により開始が延期になっていると回答した。
- ・ 委員から、フッ化物洗口実施に至らない理由の一つとして、施設側に薬剤の準備や管理について不安があると発言があった。また、オブザーバーより、補助金の問題もあると発言があった。
- ・ オブザーバーから、新型コロナウイルス感染拡大によりフッ化物洗口を休止している問題が生じており、現在吐き出し方を教えていること、以前よりフッ化物に対して反対は少なくなってきており、次第にこれから進んでいくとの発言があった。
- ・ 委員から、成人・妊婦歯科健診の受診者数の目標について質問があり、事務局から

成人については増加傾向ではあるが更に受診者数を増やしていきたい、妊婦については受診率は30%程度だが全国的には高い数字であると回答した。

- ・ 委員から、医科歯科連携情報パンフレットの作成状況や配布先について質問があり、事務局から県歯科医師会や県医師会の先生方にご協力いただきパンフレットを作成し、印刷の準備を行っている。内科を標榜する医療機関に送付し、医療機関から糖尿病患者に配布し活用いただくと回答した。
- ・ 委員から、重度心身障害児・者歯科診療の対象者について質問があり、委員から障害者手帳を持っている人が対象であると解釈していると回答があった。
- ・ 委員から、歯科衛生士養成奨学金制度の指定医療機関の対象について質問があり、委員から高知市・土佐市・南国市・旧いの町以外が対象であると回答した。
- ・ 委員から、施設に対して訪問歯科診療を積極的に活用いただけるアプローチができないかとの意見があり、委員から同行訪問歯科研修事業を立ち上げ摂食嚥下評価研修により養成した歯科医師が巣立てばそれぞれの地域でその方々を中心に、医師会と連携をとりながら活動ができるのではないかと回答があった。
- ・ 委員から、在宅歯科連携室の問い合わせ・診療依頼の内容の内訳について質問があり、事務局から問い合わせは連携室の仕組みや訪問診療が可能かどうか等の電話相談を含めた相談件数、診療依頼は訪問診療の依頼があった件数であると回答した。
- ・ 委員から、オーラルフレイルの予防の取り組みは子どもたちにも効果があるか質問があり、事務局から健口体操をすることで口の機能の発達にも繋がると回答した。

#### (1) 歯と口の健康づくりに関する現状について

#### (3) 第3期高知県歯と口の健康づくり基本計画について

- ・ 委員から、歯科専門職の人材育成等支援の現状に、後方支援施設における歯科専門職の不足について追記し、今後の支援や対策を検討いただきたいとの意見があった。
- ・ 委員から、ポスターの掲示や、研修会、事業所訪問を通して職域での口腔ケアの啓発を行っていききたいと報告があった。
- ・ 委員から、がん医療について入院期間が短縮している現状もあることから、口腔機能管理を行っている施設が減少しているとは一概には言えないとの意見があり、事務局から再度検討すると回答した。
- ・ 委員から、目標項目について要点を絞りと、項目数を減らしてはどうかとの意見があり、事務局から国の施策と見比べながら目標値の作り方を検討すると回答した。
- ・ 委員から、現状を把握、分析し評価をしてから次に繋がる目標の検討が必要との意見があり、事務局から目標に至らなかったプロセスは課題で示していくと回答した。
- ・ 委員から、虐待対策に虐待件数を掲載してはどうかとの意見があった。
- ・ 委員から、なぜ目標を達成できたかまたは達成できなかったのか理由を関係者間で協議が必要であると意見があった。

(4) その他（令和3年度基本計画第3期改訂のスケジュール）

以上をもって、20時40分に閉会した。